学校番号	209

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	コンピュータ演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自プリント、ワープロ検定・表計算検定の過去問題						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ｉで学んだ基礎をもとに、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトに関して、社会で役に立つ実践的な応用力を身につけます。実習形式の授業であり、学んだとことを繰り返し活用することで力がつくため、毎回授業に参加することが重要です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
ソフトウェアの活用に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピュータを利用した社会のニーズ・サービスについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身につけるようにする。	コンピュータを利用したサービスに関する課題を発見し,情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	コンピュータを利用したサービスの安全かつ効果的な運用と管理を目指して自ら学び,コンピュータを利用したサービスの設計などに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ワープロソフトの活用	文字入力の基本操作の復習。	a:基本的なローマ字入力ができる。 促音の入力、全角・半角文字の入力ができる。 記号入力や IME パッドを利用して漢字などを入力できる。	ワークシートと実習課題	実習課題の応用問題	机間指導 振返りシート
		ワープロソフト(Word)の基本操作を学ぶ。	文字の装飾ができる。 表の作成や装飾ができる。 セルを結合した表ができる。 b:用紙のサイズや余白等の設定ができる。文字の配置や均等割り付けの設定ができる。	ワークシートと実習課題	実習課題	机間指導 振返りシート
		図形描画を学ぶ。	ピクトグラムや簡単な地図が作成できる。 (日検)ワープロ検定準2級レベルの表を含むビジネス文書を作成することができる。	ワークシートと実習課題	実習課題	机間指導 振返りシート
		ビジネス文書の様式を理解し、ワープロソフトを活用して作成する。	c:目的に合ったビジネス文書を自分で考えて作成することができる。	ビジネス文書のフォーマットを理解している。 ワークシートと実習課題	過去問題の実習課題	机間指導 振返りシート 問題解決に必要なビジネス文書を作成しようとする態度

2	表計算ソフトの活用	表計算ソフト(Excel)の基本操作を学ぶ。	a:表を作成することができる。 表を装飾することができる。 セルの値を使って、数式を入力して計算ができる。 オートフィル機能が使える。	ワークシートと実習課題	実習課題	机間指導 振返りシート
		各種関数の機能と使い方を学ぶ。	b:SUM、AVWRAGE、MAX、MIN、COUNT,COUNTIF,IF、IFの入れ子、AND、OR、VLOOKUP、ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN を使い分けることができる。	関数のワークシートと実習課題	実習課題	机間指導 振返りシート
		グラフによる効果的な数値の視覚化を学ぶ。	目的に応じたグラフの種類を選択し、グラフを作成することができる。 タイトル、軸ラベル、データラベル、凡例を設定した、わかりやすいグラフを工夫して作成することができる。	グラフのワークシートと実習課題	実習課題	机間指導 振返りシート
		表計算ソフトを使って問題解決する。	(日検)表計算検定準2級レベルの関数を利用した表と、目的に応じたグラフを自分で考えて作成することができる。 c:目的に合ったビジネス文書を自分で考えて作成することができる。	グラフのワークシートと実習課題	過去問題の実習課題	机間指導 振返りシート 表計算ソフトを活用して問題を解決しようとする態度
3	プレゼンソフト	プレゼンテーションソフトの基本操作を学ぶ。 情報デザインを意識したスライドを作成する。 プレゼンによる情報発信をする。	a:スライドに文字を入力し、装飾することができる。 b:図・表を挿入することができる。 c: 目的に合ったプレゼンを自分で考えて作成することができる。	実習課題	実習課題	机間指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度